事例No.	2356
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	吉舎町自治振興連合会

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・教育・子育て ・移住定住

事例種類	地域運営組織

事例内容・タイトル

地域運営組織の持続的な運営に向けた
取組（吉舎町自治振興連合会）

出典

地域運営組織の持続的な運営に向けた取組事例集

吉舎町自治振興連合会 ①

【概要】

立地自治体		広島県三次市	人口規模	約3,300人
設立年度		平成16年度	活動エリア	中学校区と概ね一致する
構成団体	構成団体	• 自治会・町内会	法人格の有無	無
	協力団体	• 子ども・青少年育成に関わる団体 • 生涯学習・文化・スポーツに関わる団体 • 福祉活動に関わる団体 • 防犯・防災・交通安全に関わる団体 • 緑化・美化に関する団体 • ボランティア団体 • 保育所、幼稚園、小中学校 • 行政関係機関　等	体制	役員とは別の事務局体制を確保
			詳細 役員	6名（非常勤・有償2名、非常勤・無償4名）
			詳細 役員以外	9名（うち常勤・有償9名）
			ホームページなど	http://kisajichi.com/

【具体的な活動内容】

【子ども支援・子育て支援】

■　教育と文化の薫る　教育の郷づくり

- 学校との協働による教育環境づくりや新たな文化の創造、担い手や後継者の人材育成を実施している。
- 保育園から高校までが町内にあることが地域の魅力の一つとなっていることから、その環境を活かして、地域の教育環境づくりを支援している。また、学校行事と地域行事を一緒に実行するなど、双方の参加者を増やしたり、効果を高めたりするための調整等も行っている。
- 地域活動の担い手育成のため、地域団体に対する補助金を拠出しており、当補助金をもとに2年間活動に取り組んだ団体は、連合会で「頑張る団体」として認定している。

【地域産業活性化・地域環境整備・その他】

■　享受から行動へ　共創の郷づくり

- 吉舎ふれあい祭り（例年1万人前後来訪するお祭り）の開催や寺社の祭りの支援等を行っている。
- 環境保全関係団体との連携による地域の美化や希少動植物の保全活動を行っている。

■　暮らしを支える　定住の郷づくり

- 人口ビジョンに基づく定住促進のほか、福祉見守りや地域環境整備、防犯・防災拠点機能の強化に向けた取組を集落支援員と連携しながら実施している。

吉舎町自治振興連合会 ②

【地域計画（ビジョン）の策定・見直しに向けた取組事例】

取り組み	新吉舎町まちづくりビジョンの策定、情報交流会の開催
経緯・狙い	• 旧まちづくりビジョンが改定年を迎えたため、新ビジョンを策定するとともに、改めて活動内容を検証し、継続するべき活動を明確にするきっかけとした。また、活動間のつながりを整理し、より効果的な実施方法を検討するために、個々の活動を体系的に整理した。 • 地域団体間の活動内容の調整や情報共有のため、毎月第1月曜日に「朝のコーヒータイム情報交流会」を開催するようになった。
取組の概要	• 自治体や関係機関、住民自治組織からなる「吉舎町まちづくりビジョン検討委員会」を設置し改定作業にあたった。 • 高校生をはじめとする広範囲な町民の参画による「まちづくりワークショップ」を開催するとともに学校の協力を得て実施した、小中学生の「まちづくりアンケート調査」など、次代を担う子どもたちの思いや願いを反映した、新「吉舎町まちづくりビジョン」を策定した。 • ビジョンでは基本目標（将来像）として「「教育の郷・定住の郷・共創の郷」づくりを通して誰もが幸せを実感できる持続可能なまちづくり」を掲げ、その実現に向けた3つの基本方針を定めている。 • 上述の「情報交流会」を開催し続けていたことで、地域内各団体の連携基盤ができ、ビジョン策定時にも多くの住民が参画した。
成果	• 情報交流会によって人とのつながりができ、例えば、これまでは住民の方と直接話をする機会の少なかった小中学校の校長先生と対話できる場が生まれたことで、まちづくりビジョン策定にも関与してもらうこととなった。 • さらに、子どもたちを対象として企画した活動をすぐに校長先生に相談できるようになるなど、地域活動と教育活動の連携が強化された。
今後取組みたいこと	• 移住者が地域内で店を開業するなどといった新たな動きがあるなか、そのような人達が地域に何らかの支援を求めた際に、実際に支援ができる体制を作っておく必要があると考えている。 • 地域の拠点店舗と地域内の各所をライブカメラ等でつなぎ、地域の魅力を集約して情報発信するなどして、定住促進や、移住者の店舗の支援にもつなげていきたい。







出典：吉舎町自治振興連合会　資料